

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月31日

計画の名称	長久手住環境快適化計画（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	長久手市												
計画の目標	下水道の整備を行い、普及促進を図り、安心・安全・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	404	A	404	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R1末)	最終目標値 (R1末)
1	下水道（汚水）の進捗状況を85.1%（H29）から85.5%（R1）に増加させる。 下水道（汚水）進捗率 管渠整備済面積 / 事業計画面積	85%	85%	85%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	長久手市	直接	長久手市	管渠(汚水)	新設	長久手処理区(汚水管1)	汚水管 L=768m	長久手市	■	■				69		—	
	A07-002	下水道	一般	長久手市	直接	長久手市	管渠(汚水)	新設	長久手処理区(汚水管2)	汚水管 L=118m	長久手市	■					4		—	
	A07-003	下水道	一般	長久手市	直接	長久手市	管渠(汚水)	新設	長久手処理区(汚水管3)	汚水管 L=1228m	長久手市	■	■				51		—	
A07-004	下水道	一般	長久手市	直接	長久手市	管渠(汚水)	新設	長久手処理区(汚水管4)	汚水管 L=1275m	長久手市	■	■				98		—		
A07-005	下水道	一般	長久手市	直接	長久手市	管渠(汚水)	新設	長久手処理区(汚水管5)	汚水管 L=635m	長久手市	■					28		—		
A07-006	下水道	一般	長久手市	直接	長久手市	管渠(汚水)	新設	長久手処理区(汚水管6)	汚水管 L=177m	長久手市	■					3		—		

A 基幹事業																					
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接		種別 1	種別 2	H30	H31	R02	R03	R04								
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-007	下水道	一般	長久手市	直接	長久手市	管渠 (新設	長久手処理区 (污水管 7	污水管 L=666m	長久手市	■	■				84	—			
	A07-008	下水道	一般	長久手市	直接	長久手市	終末処	新設	長久手浄化センター増設	処理場増設設計・工事 一式	長久手市	■	■				67	—			
										小計						404					
										合計						404					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制
長久手市建設部下水道課で評価

事後評価の実施時期
令和2年3月

公表の方法
市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・下水道（汚水）を整備したことにより、下水道（汚水）進捗率が85.1%から85.5%に増加し、地域の公衆衛生環境が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き下水道（汚水）を整備することで、下水道（汚水）進捗状況を増加させる。
またストックマネジメント計画を策定し、それに基づき下水道施設の更新を行うことにより、持続的な汚水処理を行っていく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道（汚水）の進捗率	
	最終目標値	85%
	最終実績値	85%

水の安全・安心基盤整備

